

令和2（2020）年度のあゆみ

令和2年度になっても新型コロナウイルス感染拡大が続き、入学式も前年度の卒業式と同様、学科ごと新入生と教職員のみで短時間で実施。健康診断、オリエンテーションに入ったところで「緊急事態宣言」が発せられたため、秋保での1泊オリエンテーションをやむなく中止。2週間休講としたうえでオンライン授業を準備し、4月末から授業を開始。5月末までオンラインでの授業を継続しました。

6月からは対面型授業を開始したものの、保育学科2年生は保育、幼稚園、施設実習にあたり、各施設から2週間の自宅待機が求められたことから、対面（1年生）とオンライン（2年生）併用のハイブリッド型の授業が行われました。後期授業もなかなかコロナの収束の気配もないことから対面を基本とした授業を行ったものの、感染拡大状況を見ながらの緊張感ある授業でした。地域貢献事業や聖翔祭なども実施できる状況になく、やむなく「オンライン聖翔祭」として無観客動画配信といった方法で実施することになりました。

9月から3月までかかって10本の企画動画の出来映えは本当に真剣に取り組んだ証になりました。短大での2年にわたる地域貢献活動等の休止、延期は伝統を継承するうえで大変危惧するものがありますが、今回の本学の学生の活動は生涯胸に刻み込む経験であったと確信するものです。

令和3年2月13日23時8分、福島沖を震源とする震度6強の地震が本学にも襲いました。10年前の東日本大震災を思い出させるような揺れは「災害は忘れたころにやって来る。」とはこのことだと思い起こさせるものでした。3月18日の卒業式開始前には、東日本大震災で亡くなられた本学の2名を含む多くの方々のご冥福を祈って合掌も行いましたが、3月20日18時9分にも再び震度5強の揺れが再び襲うに至っては東日本大震災の再来かと不安でいっぱいでした。本学の被害は幸い軽微で、学生の被害もわずかにありましたが、再度非常時に対する体制の見直しが迫られた1年でした。

困難な時期だからこそ、「建学の精神」を忘れることなく、様々な障害に対して「居ずまいを正して」立ち向かう勇気を持とう！

令和2年4月2日



入学式は、コロナ感染対策として午前の部はキャリア開発総合学科、午後は保育学科の入学生のみで短時間で実施。

令和2年4月9日



入学生を元気づけようと事務室からホームページで学生を元気づけました。コロナに負けないように！

令和2年4月23日



休講で学生もいないため、鳴海学長と教員で寂しくビオラに水やりです。

令和2年6月2日



久々に学内に戻ってきた学生の皆さん。フェースマスクをして造形の授業中も大声はないものとっても華やかでした。

令和2年6月30日



アリーナでのストリートダンス部の部員勧誘、他部も必死でした。

令和2年9月18日



7年ぶりの短期大学基準協会による認証評価は、コロナ禍のためオンラインで実施。3月には適格判定が届きました。

令和2年12月17日



「オンライン聖翔祭」動画配信のため、介護福祉系によるトーンチャイム撮影会を4階ロビーで行いました。

令和3年1月16日



コロナ禍の中で練習を重ねてきた「よさこい踊り」も後継者不足に、早期復部を願わずにはられません。

令和2年12月19日



キャリアフェスティバルで公開された関根・今野ゼミ有志による6畳の大きさの書画「前進」とよさこいチーム。

令和3年2月19日



卒業を前にした保育学科のすずめ隊の卒業公演が2月16日華やかに行われました。

令和2年12月19日



キャリアフェスで公開講座ダンススクールの子も達と PEEK-A-BOO!!が共演。子ども達の成長ぶりが素晴らしかった。

令和3年3月18日



令和2年度卒業式は、コロナウイルス感染症対策のため間隔をとって保護者なしで式典が行われました。